



・レポートなどで資料を探るとき日本語の文献だけだと数が限られ、最新でない可能性があり、「英語」ができると情報源が広がる。

これ以外にもたくさんの資料やデータがあり、すべてを載せることはできませんが、これだけを読んでも、「英語」から逃げたり、見て見ぬふりをするにはできないと思いませんか？

先月は肌寒い日もあれば、暑い日もあり、また朝晩の気温差があったりと体調管理に気をつけた人も多かったのではないのでしょうか。今月は梅雨シーズンですね。じめじめと蒸し暑くなる日も出てくると思います。生活のリズムを崩さず、しっかり栄養を取って、毎日を健康的に過ごしていきましょう。

1・2年合同開催「英語学習ガイダンス」

学習指導部と英語科コラボ企画『英語学習ガイダンス』を実施しました。「英語って卒業後に使うの?」「GTECってなに?なんのために受験するの?」「資格のメリットってどんなものがあるの?」などの疑問に答える内容でした。今回の講演をきっかけに目標を持って授業や家庭学習に取り組んでいけるといいなと思います。

☆社会人の海外進出事例

職場は新潟県内ですが、会社で電話やメールのやり取りをする相手は外国の方々です。国内勤務でも英語を使うので驚きました。



☆下の世代は英語を特に勉強している

首都圏の小学生、22.9%が英検3級以上取得済み(2021/3/31)

☆社会人が英語のスキルが必要だと感じた場面例

- ・ 職場に海外からの実習生がいて、コミュニケーションをとる必要がある。
- ・ 備品や製品を購入した際、英語で書かれていることも多い。
- ・ 輸出入の貨物を輸送することがあり英語がわからないと困る。
- ・ 店舗販売で外国人の客層が増えている。英語ができないと十分な接客ができない。
- ・ オンライン会議が身近になり、海外との商談が多くなっている。

☆大学で英語が必要だった例

- ・ 経済学部だが、英語でプレゼンテーションをしている。
- ・ 理系で実験などで使うパソコンのソフトは基本的に英語で、説明書も英語のことが多い。

【今年度検定予定】★GTEC 2年：6月下旬に全員受験
1年：10月 or 11月に受験

★英検 第2回 申込7・8月 試験9月
第3回 申込12月 試験1月



総合的な探究の時間「もりたんプロジェクト」

「総合的な学習の時間」が「総合的な探究の時間」へと変わり、「古典探究」や「地理探究」など、教科においても「探究」が名称に含まれる科目が複数新設されたことが象徴するように、2年目となる『新学習指導要領』では探究的な学習活動の充実が求められています。

「探究」とは「問題解決的な学習が発展的に繰り返されていく」ことだとされています。この教科では生徒が身近な人々や社会、自然に興味をもち、それらに意欲的に関わろうとする主体的、協働的な態度が欠かせません。自らが設定した課題の解決に向けて真剣に本気になって学習活動に取り組む必要があります。

現在、1年生と2年生が「探究学習」に取り組んでいます。本校では「もりたんプロジェクト」として、スタートしました。2年生は「地域(守谷市)の困りごと解決」とし、それぞれが課題を設定し、取り組んでいます。1年生は「探究って、そもそもなんだろう?」ということから学び始めています。

「探究」は“生徒主体”の学習活動などと言われますが、生徒主体と言っても教師もその学習に関わっていきます。「新しい教科だからこそ生徒と教師が共に学び合う」、そういった一面を持つ教科です。今後も『もりすけ通信』や『コジュもりが行く!』などでその様子が発信できればと考えています。



第1回定期考査振り返り

「もりすけ」を使って、第1回定期考査の振り返りをしましたか?今月は第2回定期考査が予定されています。振り返ったことを次の考査の準備に活かしてください。

また今年度の手帳には新しく「AARサイクルを回そう」という項目を設けました。以前実施した手帳活用ガイダンスでも説明しましたので、ぜひ使ってください。